厚生労働省
群馬労働局

Press Release

群馬労働局発表 令和２年 12 月１日	担当	群馬労働局労働基準部監督課 監督課長　城詰美智晴 ○主任監察監督官　渡辺　功 【電話】０２７－８９６-４７３５

群馬県下で年末建設一斉監督を実施します

～建設業の労働災害の防止を徹底～

年末年始は、路面の凍結や降雪等の気象条件により作業環境が変化しやすくなることに加え、工事の輻輳化による労働災害リスクの高まりが懸念されます。

このため、令和２年 12 月１日（火）から 12 月 14 日（月）までの間、群馬県内の建設業に対する一斉監督を実施し、年末・年始の時期における建設業の労働災害防止の徹底を図ります。

【群馬県内の建設業における労働災害発生状況について】

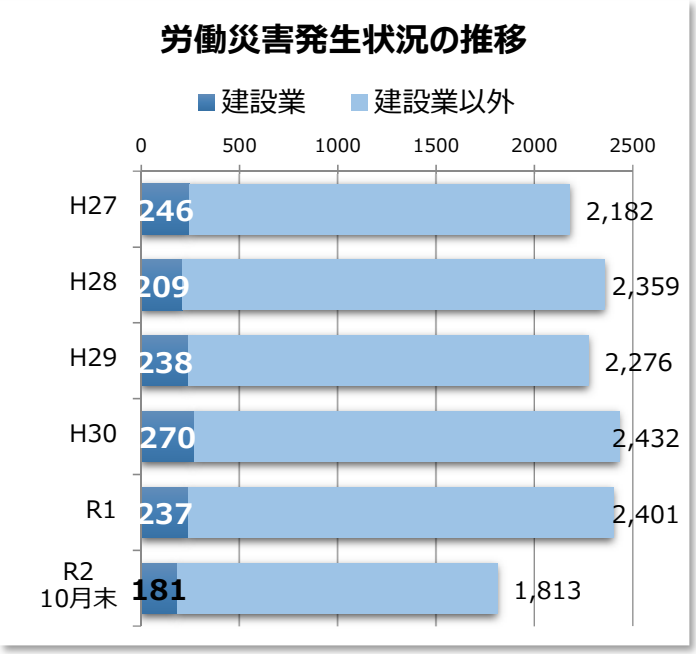
近年の群馬県内の建設業における労働災害は、増減を繰り返しながら 200 人台で推移しており、令和元年は前年より 33 名減少の 237 名となりました（「建設業における労働災害死傷者数の推移」参照）。

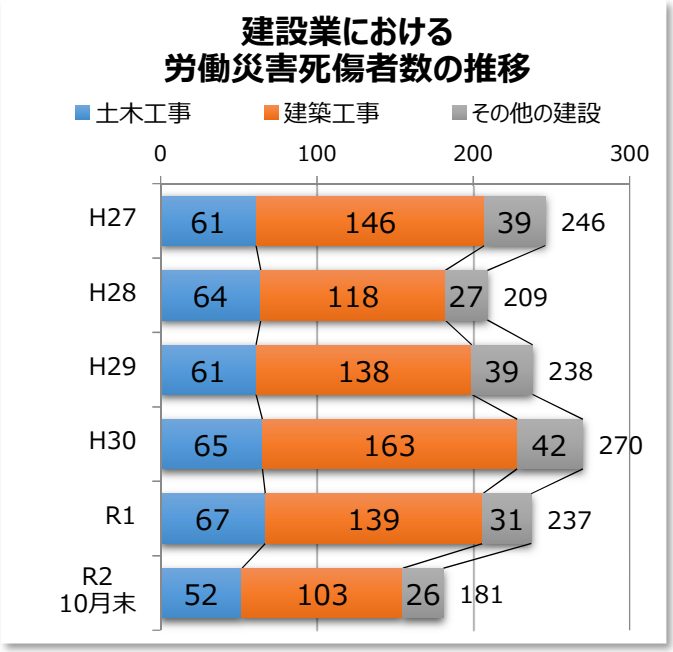
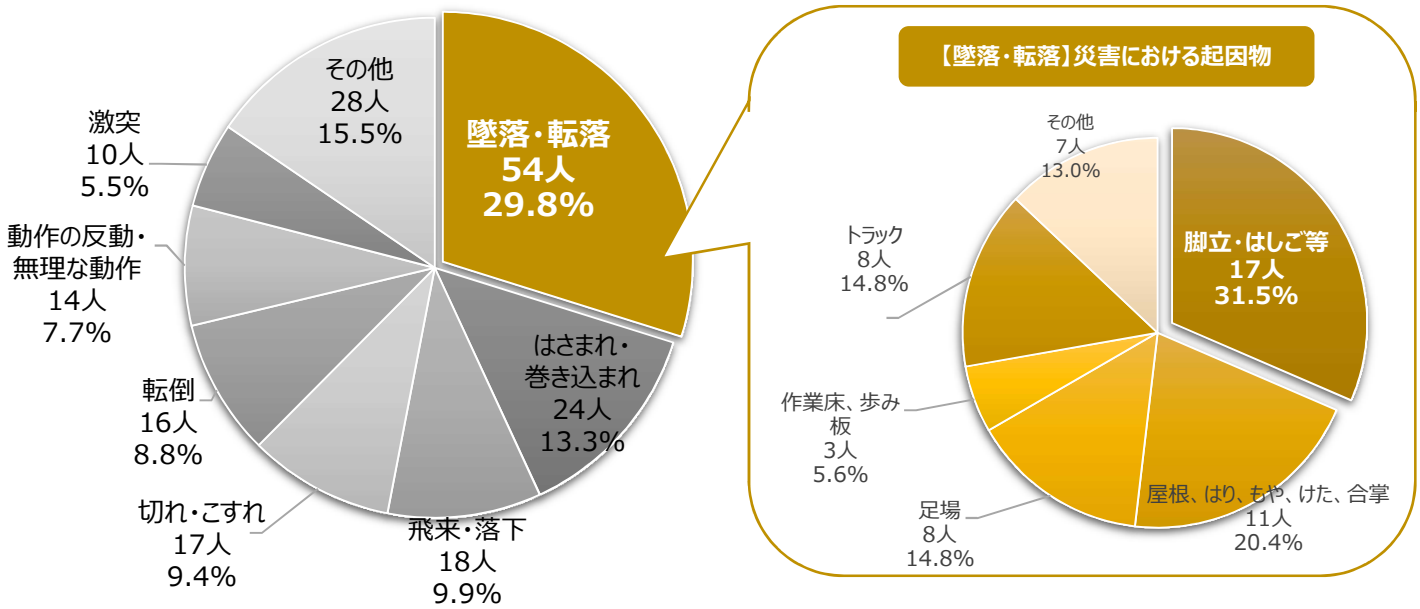
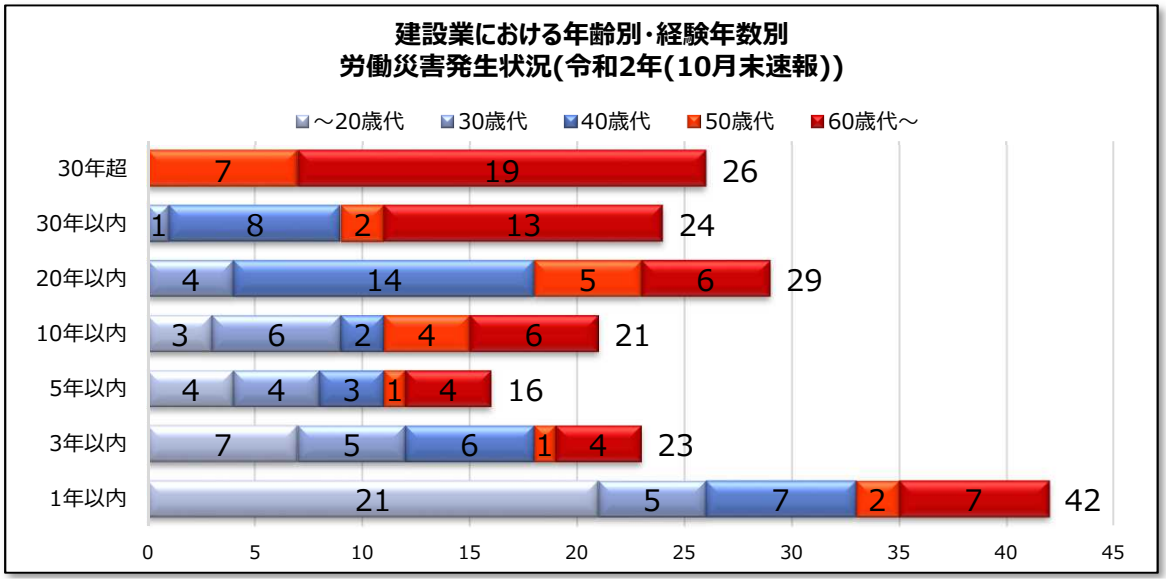
本年１月から 10 月までの建設業の労働災害は、死傷災害（休業４日以上）が 181 名（前年同期 185 名）と前年に比べ減少しておりますが、死亡災害が１名（前年同期０名）と増加しています。

また、事故の型別の内訳（10 月末現在）をみると、墜落・転落災害（29.8%）が最も多く、高所からの墜落・転落は、死亡や後遺症を引き起こす重篤な災害につながる可能性が高い傾向にあります（「建設業における事故の型別割合（令和２年（10 月末速報）」参照）。

このため、建設業における労働災害のリスクが高まる時期に、建設業に対する一斉監督を実施し、作業床（安全な足場）の設置やフルハーネス（墜落制止用器具）の使用の徹底を図るなど、建設業の労働災害リスクの一層の低減を図ることとします。

建設業の労働災害発生状況（令和2年）
（R2.10月末速報）





建設業における事故の型別割合(令和2年(10月末速報))